

# 平成三十二年 大学入試センター試験概況分析

## センター試験概況

二〇二一年度の大学入試センター試験は、一月十三日・十四日の両日に実施されました。寒波の到来に伴う雪の影響や交通機関の遅れが生じた地域では試験開始が遅り下げる会場もありましたが、このたびは明星大学会場は天候にも恵まれ順調に実施されました。本校生も二六〇名が受験しました。

志願者は五八二・六七一人前年比一〇・一％、本試験の外国語受験者数前年比一〇・四％と

## 科目別実施状況

【新入試の影響大】  
センター試験は二〇二〇年

# 新高1生は必読! 「2020年入試はこう変わる!」 大学入学共通テストがスタート!

センター試験は二〇二〇年一月の実施を最後に廃止され、これに代わり二〇二〇年度から新たに「大学入学共通テスト」がスタートします。これまでのセンター試験と同様、一月中旬の二日間実施されます。今年入学の高校一年生から、「大学入学共通テスト」(二〇二一年一月実施)を受験することになります。

現在のセンター試験からの大きな変更として、記述式問題の導入と英語について四技能(読む・聞く・話す・書く)を評価すること

今年度のセンター試験の問題では、全体として大きな変化はなかったものの、新しい形式の出題がみられました。例えば国語「現代文」の第一問では、本文に付された図(写真)に関する生徒の話合いが紹介され、そのうちひとり

## 「大学入学共通テスト」の概要

名称	大学入試センター試験	大学入学共通テスト
実施年度	～2019年度	2020年度～
日程	1月中旬2日間	1月中旬2日間
出題教科・科目	6教科30科目	センター試験と同じ ※2024年度～は簡素化を検討
出題形式	マークシート式	数・国で記述式を導入 ※2024年度～は地公・理も導入検討 【国語】・80～120字程度の問題を含む3問程度 ・出題範囲は古漢除く「国語総合」 ・マークシート問題とは別の大問 ・試験時間100分に延長 【数学】・「数I」「数II・A」で出題 ・数Iの範囲を3問程度 ・マークシート問題と混在の出題 ・試験時間70分に延長
英語	2技能(Reading, Listening)を評価	4技能を評価、民間の試験を活用 民間試験の受検は高3の4～12月に2回まで 2023年度までは民間試験と共通テストの英語を併用(大学が利用方法を指定)
成績結果・提供方法	・各科目1点刻みで採点し合計点を提供 ・国語は「近代以降の文章」「古文」「漢文」の3分野を別々に成績提供	・マーク部分は現行より詳細情報(設問・領域・分野ごとの成績、段階別表示などを検討)を提供予定 ・国語は一括提供を検討 ・英語はCEFRの段階別評価 ・記述式は段階別評価(3～5段階)

英語は実施形態を含めて大きく変わります。民間の資格・検定試験を活用して四技能(読む・聞く・話す・書く)を評価するものになります。グローバル化が急速に進化する中、英語のコミュニケーション能力を重視する観点から、大学入学共通テストでも四技能を評価する必要性が示されてきました。

現在のセンター試験は「読む」「聞く」の二技能の評価に留まっていたとされ、新テストでは4技能を評価する方向で検討されてきました。しかし、センター試験のよう

## 理解できる知識が増えることは、本来は楽しいはずだ!

第三学年主任 小沼 仁 一

節目の年、節目の学年といふのは、どれも人生における重要な意義を持つていくものです。勿論皆さんもその大切さを理解していると思いますが、まさにこの「高校三年」の持つ自分の人生における意義を十分に確認する必要があります。警城桜が丘高校のようにほとんどの生徒が大学進学を目指す進路において、この「高校三年」の大学の選択とその後就職の選択は、個人の人生の半分以上の方向性を決めるものであると一言で過言ではないと思います。それほど、この「高校

三年は特別で重なる一年です。まず、その事をしっかりと自覚してください。そして、自覚ができれば必ずやるべきことが分かってくると思います。人生の大きな方向性が決まるわけですから、当然「夢」や「憧れ」や「最も可能性の高い選択」など、絶対後悔しないように、全力で努力して勝ち取らなければなりません。自分の人生です。精一杯努力して選ぼうと努力してください。大学の選択とその後就職の選択は、個人の人生の半分以上の方向性を決めるものであると一言で過言ではないと思います。それほど、この「高校

## 夢のかけ橋

第一学年主任 豊田 浩 美

今年春の訪れが早く、いつもは入学式を待ちわびて咲く桜の花が、早々と咲き誇り、新生活を迎えるころには、すっかり葉桜となっていました。満開の桜の花は、誰の目にも留まって愛でられるのに、入学式という特別な日に目にした美しい葉桜の姿を、新入生の皆さんはいつか思い出して、懐かしんでほしいです。

平成三十二年の入学式からセンター試験に変わり「新テスト」の導入が決まり、最も重視されているのが「思考力」です。これまでの「暗記力」「知識の量」で入試を突破することができた方も、これまで「知識や情報」を与えられた知識や情報をもとにして、規則性を見出し、仮説を立てたり、自分の意見をもとめたりしてはならないため、大学入試では「思考力」が問われることになりました。「日々の学習」は「思考力」を養う訓練の場となります。「授業」を通して正しい「考え方」を学びます。そして復習をすることによって初めて、正しい「考え方」を記憶に定着させることが可能となります。

空のかなたは青く深く、未来の向かきしむりに招く飛び立つ心に希望の風を旅路がどんなに険しくあっても、ふりむけば桜が丘に七色の虹、

皆さんの前途にかかる「夢のかけ橋」は、明るい希望に満ちた未来へと続いています。三年後の春には、満開の桜に見送られた満面の笑みの皆さんに逢えることを信じて、さあ今日から一緒に頑張ります。

## 将来を見据え、一歩ずつ前へ

第二学年主任 猪 茂 男

二年生は、将来の自己実現に向けて努力を積み重ね、中堅学年として先輩を助け後輩を指導する立場にあります。学校行事・部活動・ボランティア活動などいろいろな場面で、君たちが積極的な取り組みをしていくことを期待します。また、二年生は学校に慣れ、受験までにまだ時間があるという安心感から気が緩んでしまいがちです。一年が経ち、もうすぐ受験です。『中だるみ』にならないために、既に一年で確立されている予習・疑問点を見つけ、

年次の夏休みは是非、オープンキャンパスに足を運んで下さい。高専大学に直接行ってキャンパスの雰囲気や授業の様子を体験してみませんか。模範授業や受験相談に参加してみませんか。君たちは、中学時代の成績から「自分はどの程度」と決まっています。努力を怠りません。勝手に自分の限界をつくっていませんか。学びたい質問や将来の夢のことも、自分の進路を具体的に考えていかなければなりません。一年次で始めた大学研究をさらに深めて、学部・学科情報を集める同時に、自分の興味や適性についてもじっくりと考えておく必要があります。二

